

2019年2月14日

加東市議会



議長 小紫恭良 様

請願者 全日本年金者組合兵庫県本部

住 所

Tel.

紹介議員

石 路 和 夫

75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する請願

住民の福祉増進への日ごろのご尽力に敬意を表します。

2019年から、後期高齢者医療(75歳以上)の医療費窓口負担を原則1割から2割にする議論が、経済財政諮問会議(内閣府)や財政制度審議会(財務省)ですすめられ、社会保障制度審議会(厚労省)でも議論が開始されました。2割化となる負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。

戦前、戦後を体験してきた高齢者は日本経済の発展に寄与し、医療に安心してかかる制度に支えられ、世界一の長寿国をつくりあげてきました。しかし、この間、公的年金の受給額が毎年減少するなどの影響もあり、一人暮らしの高齢者の約半数は生活保護基準を下回り、高齢者世帯の27%が貧困状態に陥っています。

高齢者は健康で長生きするために、わずかな貯蓄を取り崩し日々の生活を送っています。このような厳しい実態に追い打ちをかける75歳以上の医療費自己負担の2割化は、高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼし大変困ります。

こうした事情をご理解いただき、高齢者の医療費窓口負担の2割化をやめるよう、地方自治法第99条の規定による意見書を国及び関係機関に提出されるよう請願します。

記

1. 75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないでください

以上

請願書 陳情書	受付第	1	号
平成31年 2月 14日			
加東市議会事務局			